



大動脈弁狭窄症について

日頃の診療で聴診をしていると、シューシューと雑音が聴こえる方がいます。心臓超音波検査で

心臓を観察してみると、大動脈弁が白く石灰化を

して、弁の開きがあまりうまくいっていません。これを大動脈弁狭窄症といいます。

大動脈弁の開きが悪いと、脳に行く血流が少な

ければ意識を失ったり、また心臓を養う血管に

まわらなくなれば、胸痛が重苦しい、いわゆる狭心痛が出現します。



松原 清二 医師

在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポート医

特に未治療の大動脈弁狭窄症は5年生存率は20%ともいわれています。そこでこのような症状が出現した場合は、大動脈弁の動脈そのものに対し、弁を取り替えるといった外科的治療や、もしくは力

先日福岡で行われていた日本循環器学会の総会では、外科的治療、内科的治療、各々の観点から、治療のよいところ、悪いところについて弁論が広げられていました。単純なイメージとしては、力

[まつばらホームクリニック]
☎ 042-439-1250
matsubarahomeclinic@gmail.com
西東京市東町 4-14-18-2F
■電話対応:午前9:00~午後6:00
■定休日:土日(祝日は診療)
■訪問地域:西東京市、東久留米、新座、練馬の一部
まつばらホームクリニック 検索

た日本循環器学会の総会では、外科的治療、内科的治療、各々の観点から、治療のよいところ、悪いところについて弁論が広げられていました。単純なイメージとしては、力

先日福岡で行われていた日本循環器学会の総会では、外科的治療、内科的治療、各々の観点から、治療のよいところ、悪いところについて弁論が広げられていました。単純なイメージとしては、力

先日福岡で行われていた日本循環器学会の総会では、外科的治療、内科的治療、各々の観点から、治療のよいところ、悪いところについて弁論が広げられていました。単純なイメージとしては、力